

# 「2010年の予言—あなたを殺す ロジカル라이어—」レジュメ

木坂健宣

・ 2010年、経済（景気）はどうなるのか、またそれはなぜか。

・ 2010年、どのようなタイプのビジネスが流行ると考えられるか、またそれはなぜか。

・ 2010年、成功する人というのは、どのような特徴を持った人か。

・ 2010年、資本主義は終わるのか？

・2010年、予想される最も大きな変動は何か、またそれはなぜ起こると考えられるのか。

・「ロジカルライアー」とは何か、定義を説明せよ。

- ・二種類の決断とは何か、説明せよ。

- ・ロジカルライアーに殺されないために気をつけるべきことは何か、またそれはなぜか。

- ・ 2010年、どのような意識で過ごすべきなのか、またそれはなぜか。

## 【木坂の独り言】

ロジカルというのは、一種の誇大に評価された幻想であり、宗教である。

宗教と同じく、それ自体に罪はないが、多くの人々を欺き、陥れ、不幸にすることができる。だが、論理を否定することは、我々にはできない。なぜなら、我々は言葉（＝ロゴス＝ロジック）に支配された存在だからだ。

しかし我々は同時に、言葉を監視し、外から状況を眺めることができる。言葉づかいに注意したり、メタロジックについて学んだり、ロジックそのものを破綻させたり、様々な操作をすることもできる。

ジョイスはこの言葉の限界を壊そうとしたのかもしれない。違うかもしれない。どちらにしても、言葉を使って言葉の限界を超えることが、できるのだろうか？

我々に残された道は、おそらく、一つでも多くの可能性を自分の中に拓くことだろう。

何が実るかはわからない。何が不毛かはわからない。しかし一つでも多くの可能性を獲得し、それを拓いていくこと。それが大事なのではないか。

ロジックは、そのたった一つの、それもほとんど無力な、選択肢にすぎない。その道を歩くのも自由だが、その道しか知らないのは危険であり、不幸である。ロジック一本道の行き着く先は、断崖絶壁か、魑魅魍魎の館か。

まあ、ここまでちゃんと読んでいくくらいに意識の高い奇人な人には、関係ないか。